

和を大事にし共に課題解決を！

新理事長に丸尾高史氏(丸尾興商社長)

静岡県管工機材商組合 第55回通常総会を開催

静岡県管工機材商組合は、5月15日午後3時より静岡駅前のレストラン「エール・ブレイク」において「第55回通常総会」を開催した。事務局移管を含む全議案が承認可決され、役員改選では理事長を2期4年務めた大村敏之理事長(大村商会社長)が退任して顧問に就き、新理事長(第11代理事長)に丸尾高史副理事長(丸尾興商社長)が就任した。

総会は伊藤りゅういち副理事長(又マカン社)の司会進行、開会の辞で始まり、司会者から組合員32社中30社の出席(内、委任状3社)により総会が成立すると報告された。

冒頭、大村理事長が「この所の値上げや賃上げなど、企業にとって悩ましい話が続いている。ましてや我々に関係の深い建設業界においては、選ばれる業界になるのが本間に難しい状況だ。そんな中、どのようにして

役員改選では、新理事長に丸尾高史氏(丸尾興商社長)、顧問に大村敏之氏(大村商会社長)、新副理事長に鈴木隆佳氏(山田商工社長)と村松美和氏(村松商店社長)が就任。副理事長の伊藤りゅういち氏(又マカン社長)は留任となっ

また、事務局移管の件は、正会員での事務局運営が諸般の事情で困難な状況となってきたため、



総会の様子

賛助会員4社(オータケ、岡谷マケ、橋本総業、富士機材)に移管することを決めた。



大村理事長(左)と丸尾新理事長

めて事務局を賛助会員に移管することとした。また役員改選があり、私は2021年から理事長

を拝命していたが、このたび丸尾高史氏に理事長をお譲りすることになった。丸尾理事長を先頭にこの業界を盛り上げていくには、皆さん一人一人がエンジンとなるので、今後とも協力をお願いしたい」と挨拶。

次いで、丸尾新理事長が「大村さんには4年間色々なご苦労があった中、丁寧に笑顔を絶やさず最後までやって頂いて感謝申し上げます。私も見習って頑張りたい。この会の来賓の方に「静岡の会員は皆、仲がいいよね」と仰って頂くことがよくある。私もこの会

で、まずは和をもってやっていきたい。和とは、単純に仲がいいというだけではなく、もう一つ大事なことは、それぞれの立場を尊重しながら議論を尽くすことだと思う。この業界では、働き方など色々な問題がある。我々にとって重要な物流も他業界に比べて遅れをとっている所があるので、これら課題を組合の皆様の力を頂戴しながら解決できたらと思っています。宜しくお願いします」と就任の挨拶をした。

第49回優良社員表彰式が行われ、受賞者9社28名を代表して海野葵さんが代表して挨拶をした。

来賓挨拶では、橋本政昭全国管工機材商業連合会(管機連)名誉会長が、トランプ米政権の政策展開と世界経済への影響などについての見解を述べた後、「組合の皆さんで一致団結し、今年度も良い年を迎えられるよう頑張ってください」と結んだ。

村井善幸オータケ会長の発声で乾杯。和やかに歓談が進み、大島潤也OTTO中部支社副社長が中締めで盛会のうちに終了した。

【理事長】丸尾高史(丸尾興商) 【顧問】大村敏之(大村商会) 【副理事長】伊藤りゅういち(又マカン) 【理事】小澤成章(小澤商会) 【金子光彦(金子管材)】 【大河公也(大河機材)】 【野村勝也(野村商店)】 【一色哲巳(二色機材)】 【和田利光(浜松管材)】 【監事】海野晃丈(丸八) 【松原博(マニツク)】 【相談役】伊藤捷三(又マカン)。

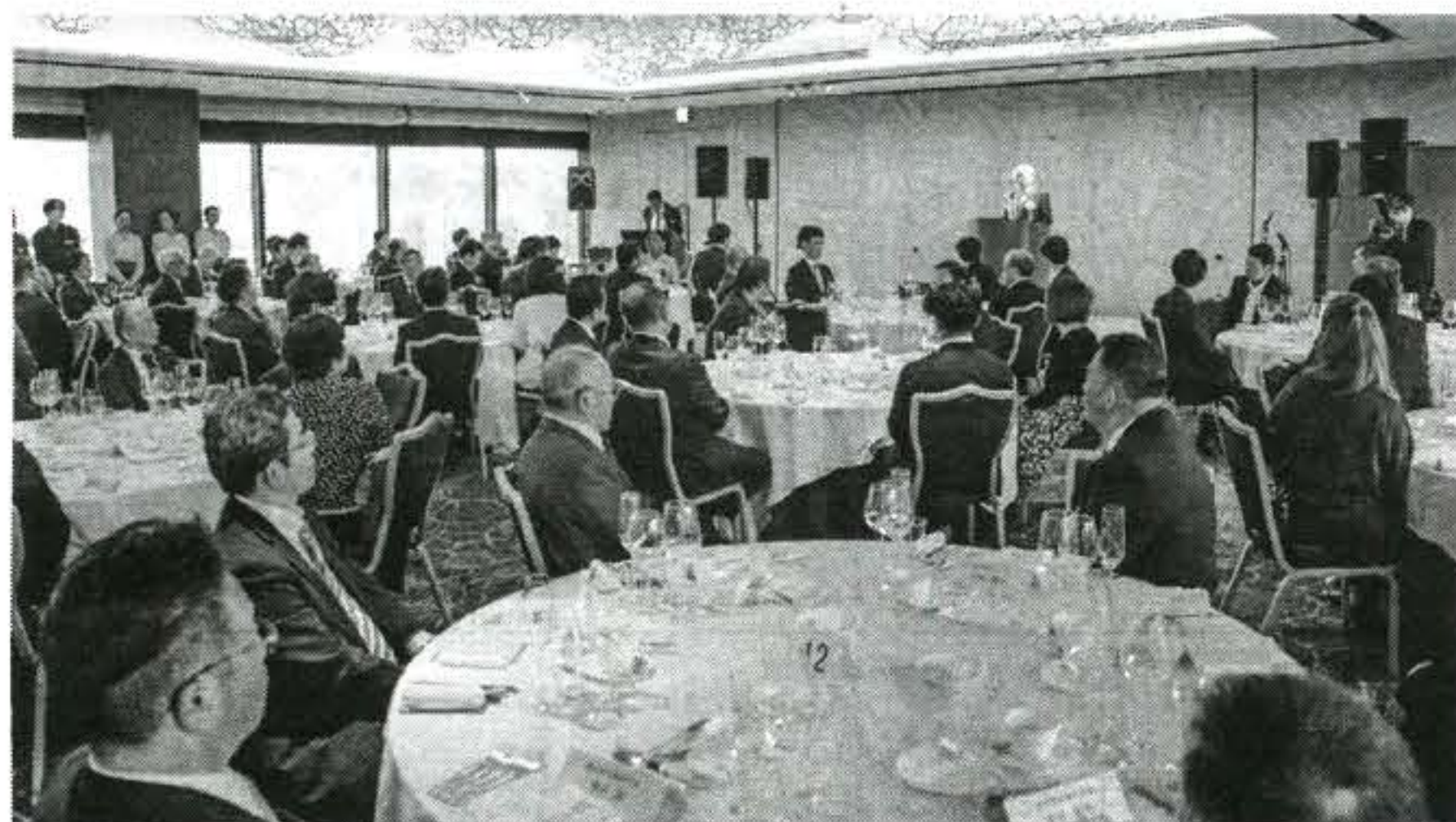
東海や関西圏の全国K V K会会員が集結

初の全国K V K会関西地区大会を開催

ゴルフ、そして注目の大阪万博も楽しむ

快適な水まわりを創造するK V K(社長末松正幸氏、本社岐阜県加茂郡富加町)と、その指定特約店および代理店などで構成される全国K V K会が5月15日と16日の2日間、同会関西地区会員を対象とした「関西地区大会」を大阪市北区のヒルトン大阪ほかで開催した。本会は、今回が初の開催である。

はじめに、鹿城律人全国K V K会副会長(カシロ産業社長)が登壇し、「先日あるテレビ番組でハーバード大学などが世界22カ国で調査した『世界幸福度ランキング』を放送していました。日本でも調査が行われたようですが、その順位がなんと22カ国中22位と最下位でした。その理由のひとつに『親しい友人が居ない』とありましたが、そこで私は『きっとこの調査を受けた人の中には全国K V K会の会員は一人も居ないんだろうな』とふと思ったものでした。当会に入っていたら、こうして皆さんが集まるたびに毎回来しい催し物を用意してくれていることですし、きっと日本の幸福度ももっと上がっていく



初の開催となる全国K V K会関西地区大会

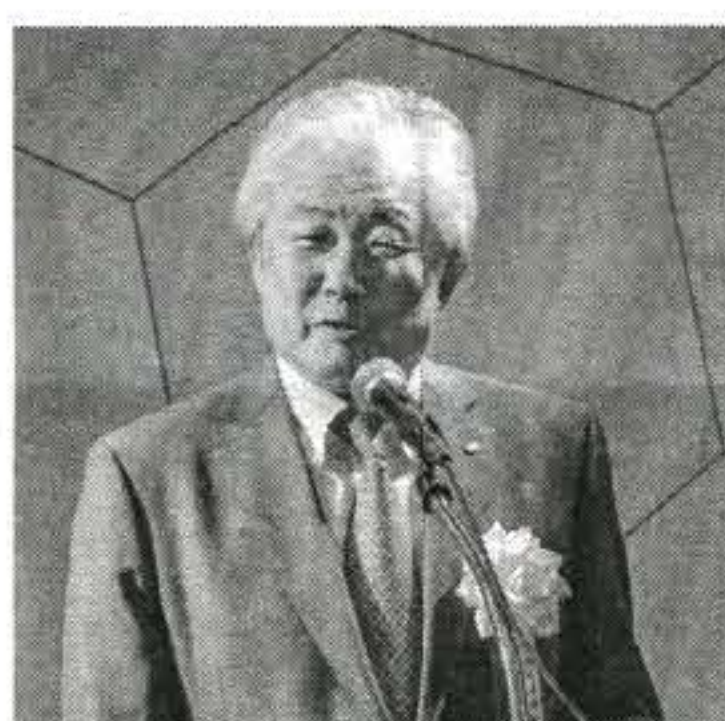
など、とても良い季節になったなあと思って大阪までやってまいりました。東京で全国K V K会総会を開催させていただいてから、1年半が経ちました。その時の講演会で講師の先生がおっしゃっていた通り、世界で起きている紛争の終結には、なかなか一筋縄ではいかないものとなっているようです。米国の大統領が行っている関税政策が、対米貿易摩擦や軋轢を生んでいます。1年半前の総会の時とは世界情勢もかなり変わっている感じがいたします。我々の業界に関係の深い住宅着工件数を見ますと、この3月は、4月からの建築基準法・建築物省エネ法の改正を前にした駆け込み需要もあり、前年3月と比べておよそ4割の増加となりました。2024年度は、こうした要因もあ

から集まる会員の皆さんと懇親を深めることができ、そこからさらに、本場に親しい友人ができる集りだと強く感じております」と参加者に向けて挨拶した。

続いて登壇した末松K V K社長は「今日は岐阜羽島駅から新幹線で来たのですが、車窓からの景色を眺めながら、山の緑などが美しく、とても良い季節になったなあと思って大阪までやってまいりました。東京で全国K V K会総会を開催させていただいてから、1年半が経ちました。その時の講演会で講師の先生がおっしゃっていた通り、世界で起きている紛争の終結には、なかなか一筋縄ではいかないものとなっているようです。米国の大統領が行っている関税政策が、対米貿易摩擦や軋轢を生んでいます。1年半前の総会の時とは世界情勢もかなり変わっている感じがいたします。我々の業界に関係の深い住宅着工件数を見ますと、この3月は、4月からの建築基準法・建築物省エネ法の改正を前にした駆け込み需要もあり、前年3月と比べておよそ4割の増加となりました。2024年度は、こうした要因もあ



鹿城律人副会長



末松正幸K V K社長

て、2023年度より2ポイントほどですが住宅着工戸数が多くなっているようです。水栓関係では、材料費などがゆるやかに上昇しているものの、キッチンまわりではセンサー付き製品が多くなっており、また、浄水器付き水栓の需要も高まっております。浴室サーモパブルを搭載した製品



種田将典理事



中島誠一郎理事